

4/7 (土)

平成30年度 事業計画発表会

テーマ 進化型阪南病院 toward & beyond

今年の事業計画発表会は4月7日(土)、院内より100名を超える参加のもと開催されました。

黒田院長より発表された平成30年度の事業計画、まずは、「29年度の総括」として、災害関連、精神科救急4単位目、院内自殺ゼロ、新棟に向けての工事や準備などの成果と、夜間休日の応需率が落ちていること、適時調査での指摘事項、採用難職種など積み残しの部分もあげた上で、「日本の精神科医療の方向」「阪南病院の精神科救急の取組みや専門診療」そして、「診療報酬の改定」や「29年度の経営状況」に触れ、「診療データ総括」、「阪南病院の現有戦力」と続き、「管理職者研修」の内容など解説し、最後に「各部門への期待や進めていきたいことなど」を解説いたしました。そして、今年も皆で力を合わせて進んでいきましょうと締めくくりました。

新たな計画に向かって病院全体がスタートを切りました。今年度も社会に貢献できる成果をしっかりと重ねていきたいと考えます。地域の先生方や多くの皆様のお力添えを引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



発表会

今年度の事業計画発表会は4月7日(土)、院内より100名を超える参加のもと開催されました。

- 基本方針**
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
 - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
 - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
 - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
 - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定



院内にはガク紫陽花も咲いています。

紫陽花

- 雪の下(ゆきのした)科。
- 開花時期は、6/1~7/15頃。ちょうど梅雨時期と重なるため、雨に映える鮮やかな青やピンクの大きな花が印象的です。
- 名前は「あづさい」が変化したものと言われています。「あづ」は「あつ(集)」、「さい」は「さい(真藍)」で、青い花が集まって咲く様子を表したとか。
- 日本原産の花。
- 花がついているのはガクで花はその中の小さな点のような部分。
- 色は土の成分(酸性やアルカリ性)で変化。

開所時間変更 及び 開所日の拡大

地域生活支援センターの開所時間変更及び、堺市発達障害者支援センターアプリコット堺の開所日が増えました。

地域生活支援センターゆい

開所時間 9:00~17:00に変更(3月までは9:00~18:00)し、利用者の多い時間に人員配置を厚くすることとしました。

堺市発達障害者支援センター アプリコット堺

開所日 第2土曜日を開所し新規相談のニーズに対応します。

外来診療表

外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)平成30年1月現在

| | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
|-------|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 1 診 | 黒田 | 土井 | 濱田 | 横田 | 黒田 | 横田 |
| 2 診 | 花房 | 横井 | 松島 | 戎 | 横井 | |
| 3 診 | 松島 | 亀田 | 植田 | 白銀 | 茶谷 | 植田 |
| 4 診 | 田中 | 新井 | 岩井 | 京田 | 萩野 | 岩朝 |
| 5 診 | 佐野 | 山田 | 川村 | 加納 | 広田 | 松村 |
| 6 診 | 柴田 | 長谷川 | | 吉川 | 小林 | |
| 7 診 | 山本 | | 小深田 | 久保 | 久馬 | 小深田 |
| 8 診 | 熊取谷 | 橋本 | 西村 | 河野 | | 熊取谷 |
| 9 診 | 上坂 | 柏木 | | 大浦 | 土井 | 安藤 |
| 診(心1) | | | 中井 | | | |

*医師の急な都合により、変更・休診となる場合がございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来 (睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。TEL.072-278-0381 FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

訪問看護ステーション移転

病院全体の改修工事のため、この度、新A棟が完成いたしました。既存施設の移転をし、より耐震性の整った建物を構築していく準備段階ですが、A棟にあった訪問看護ステーションが移転いたしました。看板を新しい場所の前に大きく掲示しております。また、御用の際はお間違えの無いよう、お願い申し上げます。



病院入口から真直ぐ進むと、正面玄関ですが、途中の自転車置き場を左に入ると訪問看護ステーション「ふれあい」です。

5月1日(火)竣工を行い、新A棟が完成いたしました。



現在、当院では、老朽化対策と耐震機能強化を含め療養環境整備として、病院全体の再構築に事業に取り組んでおります。今回、竣工いたしました建物の名称として「新A棟」と名付けました。そして1階には「セミナーホール」を設けました。約90名を収容できるホールで、今後、講演会などに利用したいと考えております。病院の入口近い場所ですので、外部からもお招きする講演会などを企画していきたいと考えております。

「大阪府災害拠点精神科病院」に指定されました

平成30年3月22日をもって、当院は「大阪府災害拠点精神科病院」に指定されました。昨年、日本精神科病院協会から、災害時に周辺精神科病院をサポートする機能を持つ「災害時支援中心病院」の指定をいただきましたが、今回はさらに大阪府の災害拠点として、府下から当院を含め3施設が選ばれています。

拠点病院の要件としては、①災害時に精神疾患を有する患者の一時的避難に対応できる場所を確保していること(体育館等)②重症な精神疾患を有する患者に対応可能な保護室等を有していること。③診療が必要な施設が耐震構造であることなど、14項目の要件をクリアしている(予定も含む)ことが求められます。2月に当院で開催された、大精協主催の、精神科救急医育成講習会で、講師より災害時に必要なものとして、転院などさせる際に、患者さんをまとめて保護できる場所があること、とおっしゃっていました。熊本地震の際も精神科患者の転院や移動には時間がかかったそうです。

安全な病院で二回患者さんをお預かりし、そこから、数名ずつ転院先へ送っていく、そんな機能が精神科にも必要とお話されていましたが、そういった機能を持つ拠点病院に選ばれたことは、災害医療に取り組み当院にとって重要なことです。患者さんの安全はもとより、地域の病院の後方支援ができるよう、しっかりと体制を整えていきたいと考えています。

(災害対策会議)



平成30年度「発達障害啓発週間」



毎年4月2日は、自閉症のことを広く知ってもらおうと国連の会議で「世界啓発自閉症デー」と定められ、いやし・希望・おだやかを表す「青」をシンボルカラーにして、世界各地でイベントやライトアップなどが行われています。日本では、4月2日から8日の1週間を、自閉症をはじめとする発達障害を広く理解してもらうことを目的に「発達障害啓発週間」としています。

今年度、堺市では4月2日に旧堺燈台・龍女神像が青色にライトアップされるとともに、啓発週間期間中はアプリコット堺が堺市役所や堺市立健康福祉プラザ、イオンモール鉄砲町にて発達障害のパネル展を行いました。また、4月末まで堺市立中央図書館で発達障害のブックフェアも開催していました。

さらに、4月15日(日)は、堺市立西文化会館にて、堺市子ども家庭課との共催で講演会「発達障害ってなに? ~当事者のリアル~」を開催しました。講演会の前半はアプリコット堺より「発達障害の最近の動向」についての解説、後半は堺市内で発達障害の自助グループの活動を展開しているさかいハツツ友の会よりご講演いただきました。当事者のお話では支援者の立場からは言いにくい部分も含めてざっばらんに発達障害の現状や自助グループの活動についてお話しいただきました。当日は、当事者やそのご家族、支援者など合わせて約100名の方にご参加いただき、大盛況のうちに終わることができました。アンケートには、「発達障害の方の気持ちをストレートに聞けて良かった」や「勇気づけられた」、「元気をもらえた」などの感想がありました。

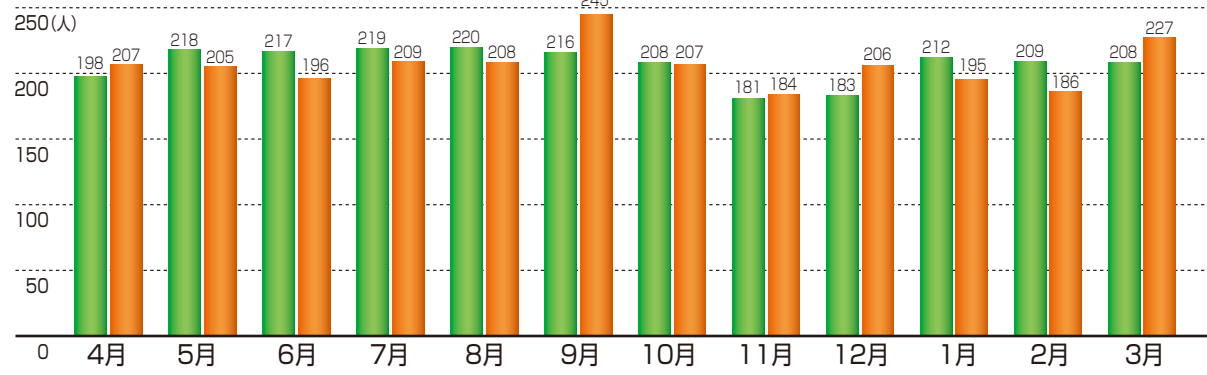
最後になりますが、アプリコット堺では、今年度も一般市民及び関係者に向けた公開講座や講演会を開催します。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



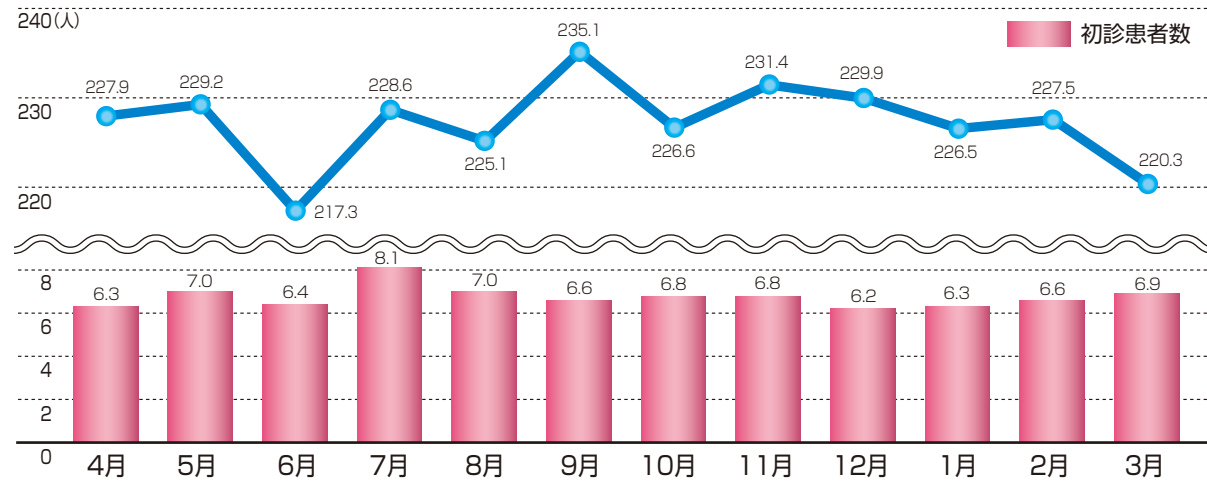
当院は敷地内完全禁煙です

◆◆◆平成29年度 医療データ◆◆◆

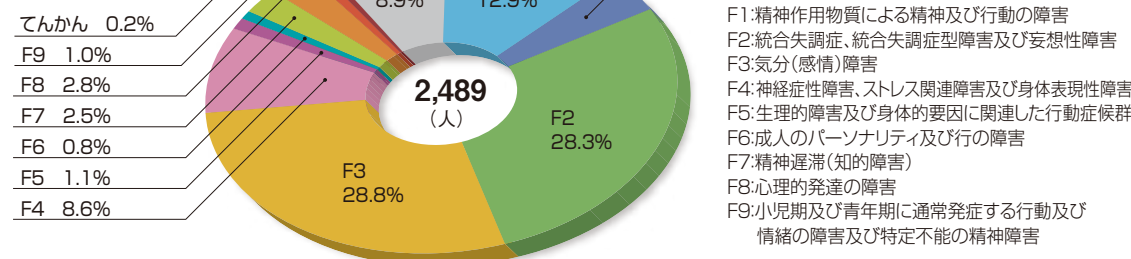
①入退院数 (入院数2,489名：退院数2,475名)



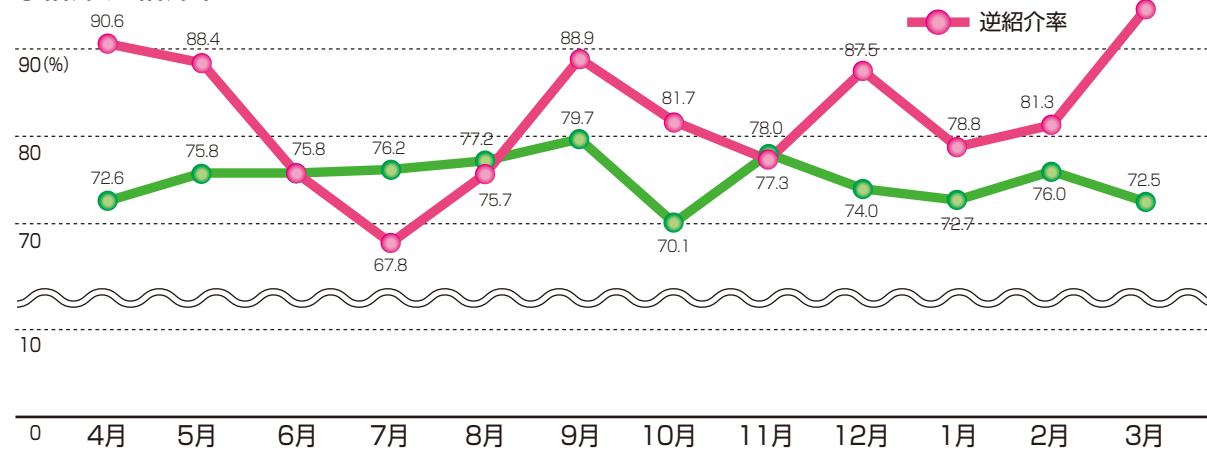
②外来患者数(1日平均) (外来数224.4名/日) 初診患者数は全く初めての新規患者



③入院患者疾病統計 (平成30年内訳)



④紹介・逆紹介率 (紹介率 75.1%：逆紹介率 82.4%)



薬学生対象



就職説明会

4月、5月は各職種の就職説明会に参加する機会も増えています。
学生の動きは早く、説明会も昨年後半から続いています。有効な採用活動のため、しっかり説明会ではアピールしています。

看護・検査・OT学生対象



看護学生対象



院内研修 「院内における暴力対応」

5月11日(金)14時半より医療安全管理室主催の院内研修を行いました。今回は患者暴力への対応ということで、医療安全管理室の患者暴力の現況や対応についての説明と、続いて西堺警察署と周辺交番勤務の方6名にお越しいただき、防犯についての説明と、さすまたなどの器具の使い方について講習を行いました。院内より80名の参加がありました。

医療安全管理室の報告では、院内での暴力件数が増加した2016年を契機に、院内での対策を強化してきていることが事例を含め解説されました。結果2017年には前年比3割減という状況で推移しています。救急、急性期の病棟も多い当院は重篤な患者さんも多く、介護抵抗も含めた暴力事案は定数発生しています。実際の場面としては、患者さんが喧嘩を始めたことに、すぐ間に入ってしまつて、暴力を受けたというふうなこともあります。すぐ対応しないと危険なところは大変ですが、何名かで対応することが大切です。対応マニュアルの整備も行われました。事案には組織として対応することが重要です。

また、日々の観察や対応も大切で、暴力は「患者さんのやり場のない思いの表現」でもあります。日頃から患者さんの思いに気を配るなど関わりが大切になってきます。スタッフ間では患者さんの状態の共有が大切です。暴力事案について、しっかりと対策をとり、その場面では安全に配慮した上での行動が、自身を守るためにも大切だと感じました。

続いて、西堺警察署の方の講習では、実技としてさすまたを使った、相手の抵抗をそぐ方法や、腕を急につかまれた、襟首をつかまれた、殴りかかれた、そんな場面での対応について教えていただきました。患者さんの安全を第一に、そして自身もケガもしないために、相手のかわし方なども教えていただきました。暴力を受けないための講習会を今後も定期的に行いたいと考えます。(全体教育会議)

